

令和 7 年度（2025 年度）事業報告
(令和 6 年 9 月 1 日～令和 7 年 8 月 31 日)

令和 7 年度事業は、当初の事業計画ならびに予算案に基づいて次のように行われた。

創立 100 周年事業の報告

2025 年は、創立 100 周年にあたる記念すべき年として、さまざまな事業を、委員会を立ち上げて企画・実施した。若手研究者による「未来の生化学」発表賞（動画）を募集、3 作品を採択した。発表は記念大会でおこなう予定である。出版事業では 100 周年記念サイトを立ち上げ、100 年の沿革や歴代の記録、「鑑往知来～生化学会 100 年の軌跡～」と題し歴代大会会頭に当時のエピソードを執筆いただき掲載している。同年 11 月開催（次年度）の大会での実施となるが、記念式典、ノーベル賞受賞者による記念講演を企画し準備に取り組んでいる。

法人事業の報告

1. 会員数の報告

2025 年 8 月 31 日現在の会員数は次のとおりである。

会員数：（ ）は 2024 年 8 月 31 日現在の数

会員種別	医・歯		理		農・工		薬		他		計	
名誉会員－国内	34	(34)	13	(13)	4	(4)	12	(15)	1	(1)	64	(67)
名誉会員－国外									53	(53)	53	(53)
永年会員	8	(6)	4	(4)	2	(1)	3	(3)	0	(0)	17	(14)
評議員	297	(293)	170	(165)	106	(110)	144	(141)	4	(4)	721	(713)
正会員	1,727	(1,714)	1,539	(1,498)	1,049	(997)	1,104	(1,115)	119	(129)	5,538	(5,453)
学生会員	328	(270)	493	(466)	479	(431)	340	(348)	2	(1)	1,642	(1,516)
小計	2,394	(2,317)	2,219	(2,146)	1,640	(1,543)	1,603	(1,622)	179	(188)	8,035	(7,816)
異動数	77		73		97		-19		-9		(前年比 219)	
賛助会員									45口	(49)	38社	(41)
団体会員											112団体	(115)
総計											8,185	(7,972)
											(前年比 213)	

2025 年 8 月 31 日現在 支部別会員数

() は 2024 年 8 月 31 日現在の数

支部名	会員数(名)	%
北海道	215 (211)	2.6%
東北	522 (540)	6.4%
関東	3,024 (2,974)	36.9%
北陸	251 (232)	3.1%
中部	734 (738)	9.0%
近畿	1,618 (1,532)	19.8%
中国 四国	623 (625)	7.6%
九州	885 (830)	10.8%
国外 他	313 (290)	3.8%
計	8,185 (7,972)	100.0%

2. 会議開催の報告

学会運営のために行われた主な会議の開催状況は以下のとおりである。

理事会 10 月，4 月，8 月 3 回
常務理事会 4 月 1 回

開催場所：

TKP ガーデンシティ御茶ノ水（10 月，4 月）
オンライン（8 月）

第 62 回総会

日時：令和 6 年 11 月 8 日

開催場所：パシフィコ横浜ノース（第 97 回大会内）

3. 各支部会議開催の報告

北海道支部	1回
東北支部	1回
関東支部	1回
中部支部	1回
北陸支部	1回
近畿支部	1回
中国四国支部	1回
九州支部	1回

4. 委員会活動等の報告

- ・情報専門委員会
ホームページでは、求人情報・学術集会カレンダー・分科会/大会等からのお知らせなど会員向けの有益な情報について新しい記事を常に掲載した。
また「日本生化学会チャンネル」のバナーでは、大会で行われた 2 題の講演動画を追加公開した。
- ・研究倫理委員会
日本医学会連合研究倫理委員会との連携を図り、意見書等を提出した。
- ・日本学術会議、日本学術振興会、日本医師会、日本医学会連合、各機関からの周知など連携および協力をした。

公益目的事業の報告

5. 出 版 <公 1>

(1) 生化学誌出版
会誌発行状況は以下のとおりである。

※偶数月の隔月発行（6 回／年）

上段()内は前期発行 下段()内は第95巻	総頁	記事数	総説	MR	TN	その他
第96巻5号(10月)～ 第97巻4号(8月) (2024年9月～2025年8月)	835 (918)	144 (151)	47 (47)	46 (63)	3 (2)	48 (39)
第96巻 第1～6号 2024年	894 (861)	144 (150)	53 (43)	46 (66)	3 (2)	42 (39)

支部企画による特集号は好評を博している。
編集企画協力委員には非会員の参画も要請し、幅広い企画の立案に努めている。
電子版の読みやすさは好評で、新刊では毎号フリーアクセスの記事を網羅し、6 か月経過後はすべての記事を誰でも読めるようにしている。

(2) The Journal of Biochemistry (JB) 出版

欧文誌の発行状況は以下のとおりである。

上段()内は前期発行 下段()内はVol. 173, 174	Pages	No. Paper	Reg. P	Comm- mun.	Rev/ Minirev.	Ref. & Others
Vol. 176-3～178-2 (Sep. 2024～ Aug. 2025)	896 (1199)	94 (121)	53 (75)	9 (3)	19 (32)	13 (11)
Vol. 175, 176 2024	1,155 (1061)	121 (103)	71 (69)	4 (2)	32 (22)	14 (10)

2024 年の Impact Factor（2025 年発表）は 1.7 であ
った。

海外を含む一般にも広く投稿を呼びかけ、優秀な論文
に与えられる「JB 論文賞」を設け、大会開催時には
その授賞式およびシンポジウムを開催し JB へ投稿、
周知をはかった。

JB 編集委員会により設けられた査読者を顕彰する審
査員賞を付与した。

- ・JB 審査員賞（第 5 回）
竹内 理，築取 いずみ，倉岡 功，森戸 大介，
平田 祐介，神原 丈敏，石原 孝也

(3) 各月の発行状況は以下のとおりである。

	生化学	JB
個人会員	307	16
団体会員	115	33
賛助会員	41	42
書店等販売	88	16
贈呈	113	147
その他の	236	46
計	900	300

6. 学 術 集 会 <公 2>

(1) 第 97 回生化学会大会開催の報告

日時：令和 6 年 11 月 6 日～11 月 8 日
場所：パシフィコ横浜ノース
会頭：吉村 昭彦
プログラム：特別講演 2，会頭特別企画 3，
一般演題 1, 300（内 口頭発表 318，ポスター1,221，
Late-breaking Abstracts 79），シンポジウム 95，
JB シンポジウム 2，バイオインダストリーセミナー2
参加登録者数：3,081 名（内 学生 1,113 名）

(2) ダイバーシティ推進委員会活動報告

第 97 回大会時にワークショップ「学生のリアルな声に基づいた若手支援を考える」を企画，開催した。
また，男女共同参画学協会連絡会では正式加盟学協会として定期的に運営委員会に出席している。

(3) 各支部の例会・シンポジウム開催の報告

各支部における学術活動は活発であり，下記の通り例会を開催した。

- 北海道支部「第 62 回北海道支部例会」 (7 月)
東北支部「東北支部 第 91 回例会・シンポジウム」 (6 月)
関東支部「2025 年度 関東支部例会」 (6 月)
北陸支部「北陸支部第 43 回大会」 (6 月)
中部支部「第 89 回中部支部例会・シンポジウム」 (5 月)
近畿支部「第 71 回近畿支部例会」 (5 月)
中国四国支部「第 66 回中国四国支部例会」 (5・6 月)
九州支部「令和 7 年度九州支部例会」 (6 月)

(4) 国際会議等への補助金拠出，共催開催の報告

- ・第 23 回バイオフィロントニアシンポジウムとして以下の国際会議を予定した。

「レドックス超分子医学生物学フォーラム：
International Forum for Redox Supramolecule
Biology & Exploratory Medicine」

日程：2025 年 4 月 17 日～21 日

開催都市：仙台市

「タンパク質・オルガネラ寿命制御に関する国際会議：International Symposium on Protein and
Organelle Lifetime Regulation (ISPO2025)」

日程：2025 年 10 月 30 日～11 月 2 日

開催都市：奈良市

- ・FAOBMB 関連
FAOBMB の Constituent Member として本間光一が貢献した。
- ・IUBMB 関連
Travel Fellowship などでの活動支援をした。
- ・生化学若い研究者の会への支援をおこなった。
「第 65 回生命科学夏の学校」

7. 表彰・助成 <公 3>

(1) 表彰・奨励

2025 年度奨励賞，JB 論文賞，柿内三郎記念賞および柿内三郎記念奨励研究賞の募集をおこない，各種授賞等選考委員会による選考を行った。

受賞者は以下のとおりである。

- ・日本生化学会奨励賞
小嶋 良輔，櫻木 崇晴，藤田 宏明，夜久 圭介，
藍川 志津
- ・JB 論文賞（第 33 回）
杉山 成明 他 3 名，川上 聖司 他 2 名，
青木 裕一 他 14 名，
Mohammad Mamun Sikder 他 5 名，
山口 史明 他 2 名，前田 昂樹 他 4 名，
大橋 祥子 他 5 名，Tamara Ginevskaia 他 8 名，
松原 一樹 他 6 名，坂田 和樹 他 3 名
- ・柿内三郎記念賞（第 20 回）
該当者なし
- ・柿内三郎記念奨励研究賞（第 22 回）
矢吹 悌，小坂田 拓哉

その他財団等へ学会推薦を行った。

(2) 助成

「早石修記念海外留学助成」の募集を行い，留学助成審査委員会による選考を行った。採択者は以下のとおりである。

第 9 回 2025 年度採択者

小川 基行，村上 千明，八木 正樹，柳川 恭佑，綿村 直人

2026 年度「早石修記念海外留学助成」の募集を行った。

以下余白